

ぱおぱお ニュース

< 病気の豆知識 >

今月は… 『 予防接種 』 です

私たちは日常生活の中で、さまざまな細菌やウイルスと共存しているため、それぞれに対する抵抗力がないと病気(感染症)にかかってしまいます。



乳幼児は免疫力(病気に対する抵抗力)が弱く、感染症にかかりやすいです。ワクチンを接種して免疫をつくることにより、発病を予防したり症状を軽くしたりすることが出来ます！特に保育園などで集団生活をおくる子どもたちは、適切な時期に適切なワクチンの接種が大切です。

< 同時接種のすすめ >

一度に注射を何本もしたら痛くてかわいそう…
一度に色々打ったら体の副反応も強くなりそう… など、心配ですね。



でも考え方もよりますが、何度も病院へ来て毎回泣いて痛い思いをするよりは、泣いているうちにまとめて打ってしまう方が、病院嫌いになりにくいのではないかと思います。

また、副反応のリスクは別々に接種しても、同時に接種しても同じです。同時接種したせいで強くなったり、特別な副反応が現れることはありません。

予防接種は必要な免疫を早くつけて、子どもを守ることが一番の目的です。風邪をひいて受けられなかったり、接種予定が遅れていくことも考えると、同時接種はおすすめです。

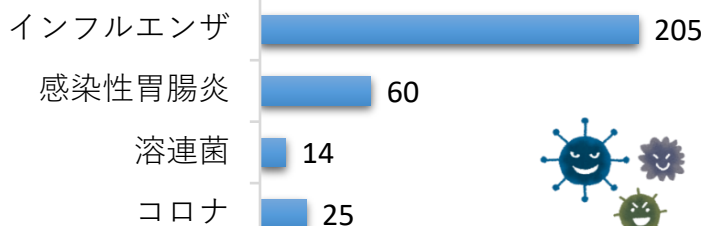


1才のお誕生日を迎えたら…

MR(麻疹・風疹)と水痘(みずぼうそう)、おたふく(任意)が受けられますよ。免疫力のプレゼントですね！
もちろん同時接種も可能です。ぜひ忘れずに接種しましょう！



< 感染症情報 >



先月の
子ども診療所

子ども診療所では…

- ・インフルエンザBが大流行でした。
- ・花粉症の症状でかかるお子さんが多くいました。

病児保育室ぱおぱおでは…

- ・急性上気道炎、感染性胃腸炎、インフルエンザBのお子様が多くみられました。
- ・お熱が一度下がっても再度上がってしまうお子様も多かったように思います。





進級、進学 おめでとうございます！！

進級・進学おめでとうございます。子どもたちの成長を実感する季節ですね。子どもたちにとっても新しいクラスや友達と出会い、わくわく楽しみな反面、環境の変化にとまどい、疲れやすい時期でもあります。

小学生までは1日9時間以上の睡眠がお勧めです。しっかり疲れをとって、翌日も元気に過ごせるようにしましょう。

体調を崩してしまったときには、子ども診療所と病児保育室ぱおぱおがお手伝いします。今年度もどうぞよろしくお祈りいたします。

子ども診療所所長 奥野 理奈

ぱおぱお病児保育室は羽衣町のお母さんたちが、中央線の南側にも病児保育室がほしいと、立川市に要望を出して出来たものです。立川市にあるぽけっと病児保育室の援助で、試行錯誤しながら現在に至りました。

皆様の要望に応え、もっともっと発展できると思います。今後ともよろしくお祈りいたします。



子ども診療所小児科医 大久保 節士郎

お子様の体調不良や発熱は急に起こることが多いですね。その都度対応に苦慮されることも多いと思います。そんな時はぜひ病児保育室でお力になればと思います。いつもとは違う環境の中で不安な気持ちを抱えているお子様にはその気持ちを受け止め、お子様一人ひとりの病状や生活リズムに合わせて安心して過ごせるように、保護者の皆様には安心して預けていただき、お仕事へ向かえるように努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお祈りいたします。



病児保育室保育士 中原 典子

保育室のご利用には 事前の登録が必要です！

見学の問合せも
どうぞ♪

何かお困りの際はご相談ください。

お問い合わせ 病児保育室ぱおぱお（月～金 8:30～17:30）

TEL 042-521-2777

* 育児相談も受け付けています